

今の世の中、
いろんなものが失われていってるでしょう。
とても素朴なだけだとはいせつなもの、
それが絵本の中にはあるんです。

いっせえもん 1972年



「ちら ちら こゆき」 1958年

いわさきちひろ

ピエゾグラフ展 2021 1/30(土) - 3/14(日)

主催／公益財団法人 酒田市美術館、ちひろ美術館 共催／酒田市、酒田市教育委員会

開館時間 | 9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日 | 月曜日(祝日の場合は翌日)

観覧料 | 一般：700円(560円)、高校生：350円(280円)、中学生以下：無料()内は20名以上の団体料金

※大学生・専門学生は一般料金となります。※障害者手帳をお持ちの方、およびその介助者1名の観覧料は、半額となります。



Sakata City Museum of Art
酒田市美術館

〒998-0055 山形県酒田市飯森山三丁目17-95

TEL 0234-31-0095

URL <http://www.sakata-art-museum.jp>



いわさきちひろ ピエゾグラフ展

生涯にわたって子どもを描き続けた画家

いわさきちひろ (1918-1974)。

大正から昭和にかけての激動の時代を生きたちひろは、戦後、絵本や絵雑誌、教科書などの印刷美術の世界で活躍しました。

「母性の画家」とも呼ばれたちひろは、母親ならではの観察力と、卓越したデッサン力を駆使し、モデルなしで10ヶ月と1歳のあかちゃんを描き分けたといいます。魅力あふれる子どもの姿を描いたちひろの作品は、没後46年を経た今でも、多くの人々の心のなかに生き、愛され続けています。

本展では、ちひろの代表作の他、絵本『おにたのぼうし』や『おやゆび姫』『戦火のなかの子どもたち』など、精巧な画像表現により再現された「ピエゾグラフ」約100点を展示し、ちひろの画業の全貌を紹介します。

子どものしあわせと平和を願い、描き続けたちひろの世界をお楽しみください。



緑の風のなかの少女 1972年



戦火のなかの少女『戦火のなかの子どもたち』
(岩崎書店)より 1972年

いわさきちひろ (1918-1974)

たけふ えちげん
福井県武生(現・越前市)に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。1950年、紙芝居「お母さんの話」を出版、文部大臣賞受賞。1956年、小学館児童文化賞、1961年、産経児童出版文化賞、1973年、『ことりのくるひ』(至光社)でポローニャ国際児童図書展グラフィック賞等を受賞。代表作に「おふろでちゃぶちゃぶ」(童心社)、『戦火のなかの子どもたち』(岩崎書店)などがある。



春の花と子どもたち 1965年ごろ



花のなかから生まれたおやゆび姫
『世界名作えほん全集14 おやゆび姫』
(ひかりのくに昭和出版/改訂版 講談社)より 1966年



麦わら帽子をかぶったおにた『おにたのぼうし』
(ポプラ社)より 1969年

ピエゾグラフとは

ちひろ美術館では、2004年より、その時点での作品の風合いを後世に伝えていくため、原画をデジタル情報として記録し、保存していくアーカイブを続けています。同時に、そのデジタル情報をもとにして、「ピエゾグラフ」の制作も進めてきました。

ピエゾグラフとは、耐光性のある微小インクドットによる精巧な画像表現で、ちひろの繊細な水彩表現まで高度に再現しています。光に強いピエゾグラフは、ちひろの作品の公開の可能性を大きく広げました。

ご来館の皆様へのお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

以下のお客様につきましてはご入館をお控えください

- 発熱や咳、くしゃみなどの症状がある方、その他体調不良の方
- 新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触が疑われる方
- 過去2週間以内に感染拡大している地域や国への渡航歴がある方
- 団体でのご来館は出来る限りお控えください。
5名以上でご来館の場合、時間差の入館をお願いします。

皆様に安心してご鑑賞いただくため、
以下のことにご協力ください。



連絡先のご記入をお願いします。



手指の消毒をお願いします。



検温にご協力ください。



館内での会話をお控えください。



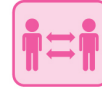
マスクの着用をお願いします。



展示物やケースに触れないでください。



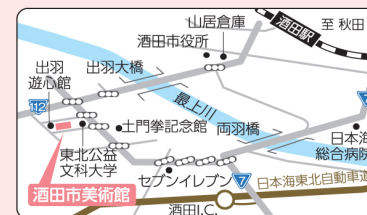
咳エチケットにご協力ください。



1メートル以上離れてください。

他、詳細は美術館ホームページでご確認ください。

状況により展覧会に変更が生じる場合がございます。
最新情報は酒田市美術館HP、またはFacebookでご確認ください。



【交通のご案内】

- ◆JR東日本酒田駅／乗合バス20分・タクシー10分
- ◆庄内空港／タクシー20分
- ◆日本海東北自動車道酒田ICより6分
- ◎駐車場／無料駐車場有(120台収容)

Sakata City Museum of Art
酒田市美術館

〒998-0055 山形県酒田市飯森山三丁目17-95
TEL 0234-31-0095
URL <http://www.sakata-art-museum.jp>

